

2024年度 環境経営レポート

(対象期間：2023年11月1日～2024年10月31日)



弊社太陽光発電所93.4kW 於：京都府京丹後市峰山町



友田建設株式会社



認証番号0010974

発行日：2025年 1月 30日

目 次

(1)	取組の対象組織・活動	P 1
(2)	主な環境負荷の実績（過去 3 年間含）	P 2
(3)	環境経営方針	P 3
(4)	環境経営システム推進組織図	P 4
(5)	環境経営目標	P 5
(6)	主要な環境経営計画の取組結果とその評価 次年度の取組内容	P 6
(7)	環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価 の結果並びに違反、訴訟等の有無	P 7
(8)	代表者による全体評価と見直し・指示	P 8

エコ活動（節電・節水）の取り組み

1. 取組の対象組織・活動

組織の概要

(1) 事業者名及び代表者氏名

友田建設株式会社 代表取締役 友田匡則

(2) 所在地

本 社 兵庫県豊岡市大磯町4番5号

加陽資材倉庫 兵庫県豊岡市加陽815-3

連絡先 TEL 0796-22-5388

FAX 0796-24-2580

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 代表取締役 友田匡則

環境管理担当者 山本佳名子

(4) 創業年月日

昭和19年8月8日

(5) 資本金

3,300万円

(6) 許可・登録等

※ 兵庫県知事（特3）第650100号

許可年月日 令和3年9月11日

土工事業、建築工事業、とび・土工事業、石工事業、鋼構造物工事業

舗装工事業、しゅんせつ工事業、塗装工事業、水道施設工事業、解体工事業

※ 兵庫県知事（般3）第650100号

許可年月日 令和3年9月11日

大工工事業、管工事業

(7) 事業規模

年間売上高

225百万円

	本社	加陽資材倉庫	合計
総従業員	19人	無人	19人
延べ床面積	540.81m ²	368.3m ²	909.11m ²
敷地面積	353.1m ²	2016.48m ²	2369.58m ²

(8) 建設現場等の概要 (2023/11~2024/10)

元請工事 41 件

下請工事 2 件

(9) 事業年度 1 1 月~翌年 1 0 月

2. 認証・登録範囲

(1) 事業所名

友田建設株式会社

本社、加陽資材倉庫

(2) 活動

建築工事業、土木工事業

2. 主な環境負荷の実績（過去3年間分）

項目	単位	環境負荷の実績			
		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
二酸化炭素 排出量	kg-CO2	電力 6,682	電力 5,432	電力 5,345	電力 5,439
		ガソリン 32,353	ガソリン 33,004	ガソリン 30,267	ガソリン 26,908
		軽油 24,600	軽油 33,111	軽油 50,914	軽油 19,104
		63,635	71,547	86,526	51,451
産業廃棄物 排出量	t	182	756	395	141
一般廃棄物	t	0.19	0.18	0.64	0.21
水使用量	m ³	73	63	73	92

電力の二酸化炭素排出係数：0.311kg-CO2/kWh 2023年度:関西電力の調整後排出係数

3. 環境経営方針

友田建設株式会社 環境経営方針

当社の経営理念の一つである「地域社会への貢献」に沿って、地域環境問題と事業の発展を両立させる建設活動に努めます。

1. 建設事業に伴う環境負荷の低減に努めます。

※ 1. 電力及び自動車燃料の使用による二酸化炭素排出量の削減

2. 水使用量の削減

※ 3. 廃棄物排出量の削減

2. 建設事業を通じて環境改善に努めます。

1. リフォーム等における省エネ機器の設置推奨

3. 関係する環境法規等及び地元との約束を遵守します。

4. 本方針を全従業員及び協力会社社員に周知させ、社外へも公開します。

5. 環境経営システムの継続的改善を図ります。

※ 重点項目

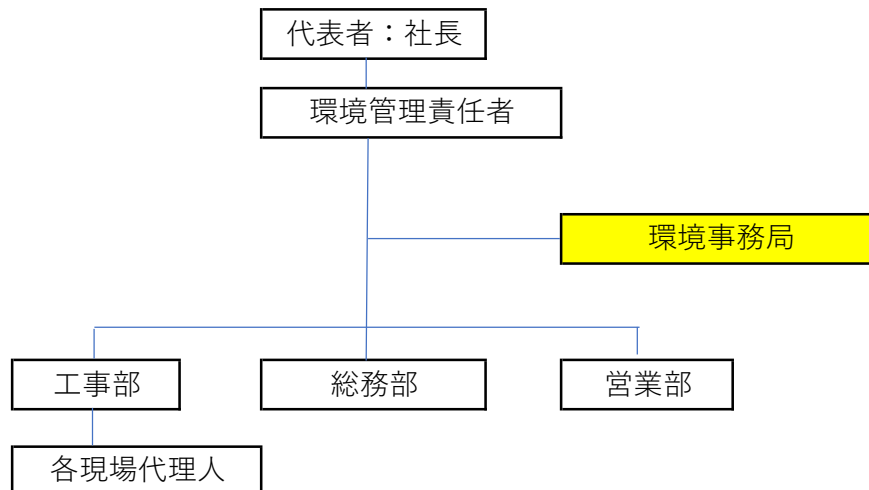
設定日 2014年 6月 1日

改定日 2022年 7月 7日

友田建設株式会社

代表取締役 友田 匡則

4. 【友田建設株式会社 環境経営システム推進組織図】



【適用範囲】

友田建設株式会社 本社・建設現場

【役割・責任・権限】

	役割・責任・権限
代表者(社長)	①代表者として環境経営全般に関して責任と権限をもつ ②環境経営方針を策定し、従業員に周知させる ③資源(人・もの・金)の用意をする ④エコアクション21全体の取組状況に関し評価、見直しを実施する ⑤環境管理責任者、環境委員等を任命する ⑥環境経営レポートを承認する
環境管理責任者	①エコアクション21建設業向けガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムを構築し、実行し、環境面の実績を向上させる ②上記の結果を社長に報告する ③EA21文書類の承認をする ④環境委員会の委員長としてEMS全般の蛇取りを行い、実行を推進する
環境事務局	①EA21環境経営システムを構築し、文書化し、実行を推進する ②環境への負荷の自己チェックを実施する ③環境への取組の自己チェックを実施する ④環境管理責任者を補佐し、問題点の審議と解決策を立案する ⑤環境経営レポートを作成する
部門長及び全従業員	①自部門の環境目標、環境活動計画の達成と実績の把握を行う ②環境経営方針、自部門の環境経営目標、環境活動計画を部門全員に周知する。 ③自部門に関連する法規制等を順守する ④自部門の教育・訓練を実施する ⑤社内外の環境情報の収集と伝達をする ⑥自部門の緊急事態への準備及び対応の訓練を実施する
現場代理人	①作業所におけるEA21実行責任者を兼ねる ②作業所の環境経営目標、活動計画の達成と実績の把握を行う ほか

5. 環境経営目標

	環境目標	基準値 2021年度	環境経営目標		
			2024年度 △3%	2025年度 △4%	2026年度 △5%
1	電力使用量の削減	15,986	15,506	15,346	15,187
		kWh	kWh	kWh	kWh
		4,972	4,822	4,772	4,723
		kg-CO2	kg-CO2	kg-CO2	kg-CO2
2	自動車燃料の削減 【ガソリン】 事務所・現場	13,935	13,516	13,377	13,238
		ℓ	ℓ	ℓ	ℓ
		32,352	31,382	31,058	30,734
		kg-CO2	kg-CO2	kg-CO2	kg-CO2
	ガソリン消費に対する燃費管理	—	前年度に対して 1%減	前年度に対して 1%減	前年度に対して 1%減
	【軽油】 事務所・現場	9,534	9,248	9,153	9,057
		ℓ	ℓ	ℓ	ℓ
		24,598	23,860	23,614	23,368
		kg-CO2	kg-CO2	kg-CO2	kg-CO2
	二酸化炭素排出量合計	61,922	60,064	59,444	58,825
		kg-CO2	kg-CO2	kg-CO2	kg-CO2
3	建設廃棄物の リサイクル率	93.0	93.3	93.4	93.5
		%	(+0.3%)	(+0.4%)	(+0.5%)
4	水使用量の削減	73	71	70	69
		m³	m³	m³	m³
5	製品、サービスの環境改善	-	節水型 トイレ9件	節水型 トイレ10件	節水型 トイレ11件
6	苦情・クレーム(対応に金額があるもの)を無くす	-	0件	0件	0件

※ 電力の二酸化炭素排出係数：0.311kg-CO2/kWh 2023年度:関西電力の調整後排出係数

但し、電力については事務所・加陽資材倉庫のみとする。

環境経営目標は毎年度末に見直しを実施する。

活動計画は、企業の決算月に合わせる。

化学物質：取扱いしていない。

灯油：使用量がない

一般廃棄物：排出量が少ない為、維持管理項目としている。

6. 主要な環境活動計画の取組結果とその評価

No.	環境目標	環境活動計画の概要	取組結果の評価 (2023/11～2024/10)		次年度の取組
1	電力使用量の削減 (CO2排出量削減)	・空調設定温度の励行 (夏季28℃以上) (冬季20℃以下) 実施担当者：総務部	目標：15,506 実績：17,489 kWh 目標：4,822 実績：5,439 kg-CO2 達成率：89% ×	社内の人員増加で 使用量が増加して いる	服装での調整な どでエアコン使 用時の温度設定 に気をつける
2	自動車燃料の削減 【ガソリン】 (CO2排出量削減)	・エコ運転の徹底 ・アイドリングストップ ・相乗りの推奨 実施担当者：工事部	目標：13,516 実績：11,598 ℓ 目標：31,382 実績：26,908 kg-CO2 達成率：117% ○	受注量の減少で下 がっているものと 思われる	低燃費車の導入 をすすめる
	ガソリン消費に対 する燃費管理 【軽油】 (CO2排出量削減)	・エコ運転の徹底 ・アイドリングストップ 実施担当者：工事部	目標：9,248 実績：7,405 ℓ 目標：23,860 実績：19,104 kg-CO2 達成率：125% ○	受注量の減少で下 がっているものと 思われる	車両入れ替え時 には低燃費車、 環境配慮型エン ジンの搭載車を 検討する
	二酸化炭素排出量 (上記合計)	実施担当者：工事部	目標：60,064 実績：51,451 kg-CO2 達成率：117% ○	受注量の減少で 下がっているも のと思われる	今後も意識の高 揚を図る
3	産業廃棄物の削減 (リサイクル率向上)	・建設現場での分別強化 ・金属くずの容器新設 実施担当者：工事部	目標：93.3% 実績：97.2% 達成率：104% ○	意識の高まりが感 じられ、継続が意 義深い	更なる意識の高 揚を図る
4	節水 (水使用量の削減)	・流しっぱなしにしない ・自動水栓の取り付け 実施担当者：総務部	目標：71 実績：92 m ³ 達成率：77% ×	社内の人員増加で 使用量が増加して いる	機器の入替を検 討する
5	製品、サービスの環 境改善	・建物の建築計画等に省 エネ機器採用の提案を積 極的に行う 実施担当者：環境管理者	目標：年間 9件 実績：年間 0件 達成率：－ ×	エンドユーザーへ の訴求力が弱まっ ている	意義のある取組 を実践する
6	苦情・クレーム(対応に金額が あるもの)を無くす		目標：年間 0件 実績：年間 0件 達成率：100% ○	問題無し	意識の継続を図 る

※産業廃棄物リサイクル率（実績％）＝100×リサイクル量137,480kg/総排出量141,305kg＝97.2%

7. 環境関連法規等の遵守の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

(1) 当社に適用される環境関連法規の遵守状況

下記の通り環境法規及び条例等を事務所、建設現場ともに遵守しており、違反はありません。

また関係当局より違反等の指摘も過去5年間ありません。(遵守評価日：2024年10月31日)

No	適用される法律名	遵守すべき内容	遵守状況
1	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	収集運搬・処分業者との適正な契約書の締結 マニフェスト伝票の管理 (A.B2.D.E) マニフェスト交付状況の知事への報告(毎年6月30日迄) 廃棄物置場の表示と保管基準の遵守	遵守
2	騒音規制法	特定建設作業の届出	遵守
3	振動規制法	特定建設作業の届出	遵守
4	事前調査	原則としてすべての解体工事（解体、改造、補修する作業を伴う建設工事）	遵守
5	石綿障害予防規則（安衛法）	石綿等の使用の有無を調査、記録	遵守
6	大気汚染防止法（石綿関係のみ）	特定工事の発注者又は自主施工者は、作業開始までに知事に届出	遵守
7	建設リサイクル法	特定建設資材を用いた建築物や工作物の解体工事、特定建設資材を使用する新築工事や土木工事等で一定基準以上の工事	遵守
8	フロン排出抑制法	廃棄時にフロン回収業者に引き渡し 冷媒フロンを大気中に放出しない 点検・記録の保存 (3か月ごと)	遵守
9	建築基準法	ホルムアルデヒドに関する規制（内装仕上、換気設備の義務付け）	遵守
10	豊岡市火災予防条例	消火器の設置	遵守
11	建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律	対象建設工事の届出 再資源化の完了報告	遵守
12	兵庫県との災害時応援協定	応援体制の確保	遵守

(2) 環境関連訴訟等の有無

環境関連訴訟等に関して過去5年間に1件も発生しておりません。

8. 代表者による全体評価と見直し・指示

エコアクション21環境経営システムを運用し、環境配慮に関する意識が高まっていることで評価はできます。環境目標の達成は弊社建設事業のコストダウンにも直結しているので、継続実施を促していきます。さらに、昨今のSDGsの取組を図るうえで、このシステムは非常に有意義なものだと感じています。なお、目標の達成の有無については、完成工事量の増減によるものもありますが、エコ改善目標を燃費目標にすることなど、改善活動をより身近に感じ取れるように進めてきました。

コンプライアンスについては、当社の事業の根幹であり、今後とも地域から必要とされる企業であり続けるために、法令遵守は勿論のこと、企業倫理や社会的責任を全うできる企業としての価値を高めます。

更には、地域のインフラ整備の一翼を担っていることから、単なる建設会社でなく環境も考えて事業を進めている会社であること、このシステムを通して直接、間接を問わず総合的な地域貢献という役割も果たしていきたいと考えます。

環境経営方針	☐ 変更する	☒ 変更しない
環境経営目標及び環境経営計画	☐ 変更する	☒ 変更しない
実施体制	☐ 変更する	☒ 変更しない

実施日：令和 6年11月20日

友田建設株式会社

代表取締役 友田 匡則

エコ活動（節電・節水）の取り組み

空調機器

（対象期間：2023年11月1日～2024年10月31日）

夏季：28℃以上

冬季：20℃以下

- ※ 不要照明の消灯を行う
- ※ 設備点検フィルターの清掃行う



水道

【1階 事務所】

自動水栓の取り付け

節水活動

事務所

洗面所



産業廃棄物の取り組み

資材倉庫（豊岡市加陽）

（分別箱/鉄くず）

